



サンポート高松

高松丸亀町
壱番街前ドーム広場

四国電力
本店鉄塔

2007年の国連総会において、カタール国王王妃の提案により毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症について理解してもらう取り組みが行われ、今年も啓発パレードを実施いたしました。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えています。

詳細はP1へ

ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

「世界自閉症啓発デー」2026

イベント 報告

令和7年4月2日

毎年、4月2日は世界自閉症啓発デーで、香川県も自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発するイベントを行っており、自閉症当事者・施設関係者約30名が参加し、横断幕や幟を掲げて高松市商店街など約2.5kmをパレードを行いました。当日は天気に恵まれ、気持ちよく歩くことが出来ました。香川オリーブガイナースの選手も2名参加され、利用者様が啓発グッズを配布するのをフォローしていただきました。今年は香川県自閉症協会 岩附会長様より、「白鳥町の手袋製造会社である株式会社フクシン様のご協力により、青い手袋をご提供いただいた」との事で、参加者全員が着用してパレードに参加し、より一体感が生まれたように感じました。シンボルカラーの“ブルー”を両手につけて、より一層の啓発活動が出来ました。

また4月2日～8日を発達障害啓発週間として、県庁のギャラリーでの啓発資料や作品の展示であったり、企業や施設にご協力を頂き、県内13ヵ所においてブルーライトアップ等の啓発活動を行いました。今年のパレードでは子供連れのご家族の方が商店街には多くみられ、沢山の方に啓発グッズをお配りし、アピールできたと思います。年に1度のイベントではありますが、これからも自閉症を始めとする発達障害について、もっと多くの方に正しく知って頂きたく取り組んで行きたいと思っています。



香川県庁



南新町



フクシン様のご協力により
青い手袋をご提供



中央通り



ドーム広場



ことでん瓦町駅



丸亀町グリーン



県庁ギャラリー啓発展示

社会福祉法人 光志福祉会様 施設見学

令和8年4月16日 社会福祉法人 光志福祉会 理事長 喜井規光様、清水実央様、藤田明子様、平尾彰浩様が来所されました。利用者様の居住棟、日中活動を見学され感想を頂きましたので、ご紹介いたします。

松原管理者様
このたびは施設見学の機会をいただき、誠にありがとうございました。

急な坂を上った先、山の緑に囲まれた環境に施設がある様子は、訪れた瞬間から印象的でした。自然豊かな立地、心身にとっても良い環境だと感じました。

施設内では、利用者の方々のために独自に工夫・制作された余暇活動や作業用の器具を拝見し、その創意工夫に深く感銘を受けました。自助具を作成することやこれまでに難しかった作業もできるようなという取り組みは、当法人でも参考にさせていただきたいと感じた次第です。また、20年以上の歴史をお持ちにもかかわらず、建物がとても清潔に保たれていたことも印象に残っています。日頃からの丁寧なお手入れと、施設への愛情を感じました。

何より心に残ったのは、松原管理者様のご支援への熱い情熱です。入所されている方がよりよく生活できるような真摯に向き合われる姿勢、そして「障害があるから」と諦めるのではなく、時間をかけてでも「できること」を増やしていくという考え、さらに実際に何歳になってもできることは増えていくという事実、深く感銘を受けました。生活の中でできることが増えることが作業能力の向上にもつながっていくという考えは、支援の本質を捉えた素晴らしい視点だと思います。

B型事業所のご利用者の方々の作業の手際の良さにも驚かされました。日々の丁寧な支援の積み重ねが、そのような姿につながっているのだと実感いたしました。

現在は厳しい状況もあるとお聞きしておりますが、松原管理者様のお姿と施設の皆様のひたむきな取り組みを拝見し、必ずや道は開けると確信しております。どうか引き続きご活躍いただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

今回は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。
社会福祉法人光志福祉会

理事長 喜井 規光 他3名

高松南高等学校実習生を受け入れて

5月21日、22日、25日、26日

5月21日(木)、22日(金)、25日(月)、26日(火)の4日間、香川県立高松南高等学校 福祉科2名の生徒が実習に来られました。初日の午前中は緊張している様子がありましたが、少しずつ利用者さんに関わっていく度に表情が柔らかくなり笑顔も見られました。実習生から積極的に声をかける場面が増えるようになりコミュニケーションの幅も広がっていききました。実習では、生活、療育、作業、レクなど日課活動に携わっていただき、利用者さんに関わっていく中で、介護ではなく支援、手助け、出来るまで傍で見守ってあげるなどを伝えました。実習生に支援方法には必ず理由や目標もあり、ルールがあることを伝えた時の実習生の真剣な表情が心に残っています。自分自身も実習生に伝えていく中で、支援の大切さを改めて実感しました。短い期間ではありましたが、今後、実習生の方が福祉に携わっていく中でウインドヒルで学んだ事がお役に立てればと嬉しく思います。実習を終え普段の学校生活に戻っても関わった利用者の笑顔を思い出し、会いに来て頂けたら幸いです。 主任生活支援員 松田 仁美



拝啓

青葉の候、施設の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。先日の障害者実習では、私たち実習生のために、貴重な時間を割いて、ご指導いただき深く感謝申し上げます。

今回の実習の中で私は利用者さん一人一人の特性に合わせた生活支援の重要性を一番深く学びました。職員の皆様が利用者さんの障害特性を観察し、見守りや支援をする支援者としてだけでなく、一緒にウォーキングなどをする事で人として付き合い、楽しんでいただけた事が印象強く残っています。私も利用者さんとして当たり前に接し、信頼関係を作れる支援者になりたいと思いました。

職員の皆さまには、ご多忙の中、私たち実習生が現場でできる事や障害について教えてください、丁寧なご指導の元、見学から実践まで、多くの機会を与えていただいた事に深く感謝申し上げます。

このような貴重な体験を、一人一人の心に寄り添う支援を行うために生かしていこうと考えてます。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

令和8年6月4日

香川県立高松南高等学校 福祉科 2年 木村 祐翔

拝啓

初夏の候、施設の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先日の実習では、私たち実習生のために貴重な時間を割いてご指導いただき、深く感謝申し上げます。

今回の実習で私は、利用者さんの自信につながるようなサポートが大切だと学びました。見守りと声かけを基本とし、利用者さんの今持っている力を最大限に引き出すことで、自分でできたという達成感や、社会性が身につく、自立につながっていくことが分かりました。また、最初から1人でやってみるのではなく、一緒にやりましょうと声かけをし、簡単なことから始めることで、利用者さんの気持ちも乗りやすく、楽しんでもらえることも学び、安心した気持ちで取り組んでもらえることも学びました。

このような貴重な経験をこれからの実習で、利用者さんの笑顔につながるように活かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

令和8年6月4日

香川県立高松南高等学校 福祉科 2年 長尾 怜葵

新緑ハイキング

5月26日



5月26日（火）高山航空公園に新緑ハイキングに出かけました。計画では翌日27日（水）の予定でしたが、雨天が予報されているため、急遽日程変更しました。

当日は天候もよく、季節外れの暑さにも関わらず、利用者様は心地よい風を感じながら景色を眺めていました。公園内には本物のジェット機やヘリコプターが展示され、公園の奥には「落ちない」事で受験生にご利益のある高山航空神社もあります。パノラマ展望台からは讃岐平野

や海と港、眼下に高松空港の滑走路を一望でき、利用者様は離陸直後の飛行機が頭の真上を通過する時など、珍しそうに見ていました。香川県立高松南高等学校の実習生2名も参加し、利用者様とコミュニケーションを取りながら公園をゆっくり一周して心身ともにすごくリフレッシュできたと思います。これからも色々な経験を利用者様と一緒にしていきたいと思う時間になりました。

生活支援員 荒木 布実子

香川県知的障害者福祉協会主催

フライングディスク大会

6月5日



6月5日（金）丸亀飯山総合運動公園にて開催されたフライングディスク大会に利用者様5名と参加しました。今回ウインドヒルの利用者様は全員同じグループで予選を戦うことになり、決勝戦に勝ち上がるのは各グループから一人との事で、朝日氏が勝ち上がりました。決勝戦では、普段の実力を出すことが出来ず、残念な結果となりました。しかし参加してみて結果だけがすべてではないと感じました。大切な事は、ルールを守った上で楽しむことだと思います。その点では、競技中実行委員の方々の説明を座ってよく聞き、昼食のお弁当を選ぶ際にも、係の方たちを困らせることなく一人一人選ぶことが出来、待ち時間の時も周りに迷惑をかけることなく楽しく参加できることが出来ました。このことは普段から実践しているウインドヒルの支援の基本「座る・待つ・聞く」の成果だと思います。他の施設の利用者様で、列をはみ出す方がいる中で、その行動に影響されることもなく、正しく行動できる利用者様を誇りに思いました。これからも利用者様と共に楽しい経験をしていきたいと改めて思わせてくれる一日になりました。

生活支援員 玉岡



ナイスハート ふれあいスポーツ大会

6月17日



6月17日（水）善通寺市民体育館で行われた「ナイスハート ふれあいのスポーツ広場」に利用者様8名と一緒に参加しました。参加した利用者様の中には6月の行事予定表を見ながら、17日を指さして職員に「ナイスハート」「お弁当」と話をしてくることがあり、楽しみにしているんだなあと思いました。

開会式が始まり、利用者様は前を見て係の方の話を落ち着いて聞いていました。

開会式の後準備体操をし、競技ではロープ送り、風船バレー等次々に楽しいゲームを利用者様と一緒に楽しみました。お弁当の時間になり、利用者様の中には「巻き寿司が入っている」と笑顔で職員に話してくれ、食べた後はアトラクション（落語・太神楽）を鑑賞しました。午後に入って、スローエアロビクスで利用者様は、職員・運営スタッフ・他の施設の方々とペアやグループになり、リズムに合わせて身体全体を動かしているうちに、汗をかいている利用者様もいました。今回で14回目の参加となり、沢山利用様と触れ合う時間が持て、楽しそうな笑顔を見ると、こちらまで嬉しくなりました。今後も利用者様と共に沢山のイベントに参加して楽しい時間を過ごしていきたいです。

主任生活支援員 松田 仁美



ウインドヒル夏祭り

6月16日



6月16日（火）、ウインドヒル夏祭りを楽しみました。夏祭りと言えば「かき氷！」みんなと一緒に食べるかき氷は、冷たさだけでなく「イベント」としてのワクワク感があり、とても楽しい時間になりました。氷のシャリシャリした食感と、やさしい甘さのシロップがよく合って、食べていると自然と笑顔になっていました。シロップは、メロン、イチゴ、ピーチ、マスカットの4種類の味から選んでもらいました。楽しさの中にも利用者様が自分で好きなシロップを選ぶ力が育っていると感じました。かき氷体験が初めての利用者様もおられました。最初は「つめたいかな…」と少しドキドキしている様子も見られましたが、一口食べると笑顔になり、顔を見上げて「おいしい」と職員に言ってくれました。利用者様の中でシロップをかける担当にも挑戦してもらいました。「いらっしゃいませ」「どれにしますか？」と利用者様同士で声をかけ合う姿に、これまでの経験の積み重ねと成長を感じました。かき氷の後には、お祭り恒例の遊び「輪投げ」「魚釣り」「ボウリング」をしました。利用者様と職員と共に楽しく遊びました。利用者様一人ひとり、得意、不得意、楽しそうな様子などが改めて発見できました。行事を通して、自分の役割を果たす喜びや、みんなで一つのことを作り上げる達成感、遊びを通して利用者様の新しい発見ができました。今後も利用者様が喜ぶイベントを継続していきたいです。

主任生活支援員 松田 仁美

職員研修

歯科研修

医療法人社団駿陽花

しもむら歯科医院

院長 下村隼人氏

3月9日(月)医療法人社団駿陽花 しもむら歯科医院 院長 下村隼人氏を講師にお迎えし、「歯ブラシと歯磨きのおはなし」をテーマにお話ししていただきました。下村先生には毎年この時期に口腔ケアに関する研修をお願いしております。「虫歯はどうやってできるのか。」「歯ブラシはどのようなものを使えばいいか。」「歯磨きをする時、どう磨けばいいか。」を中心に歯磨きの大切さを改めて勉強しました。健康な歯でいつまでも美味しいものが食べられる様に正しく歯磨きをしていこうと思うと同時に、利用者様に正しく歯磨きが出来よう関わっていくことが重要であると思いました。



原点に戻り支援方法を再検討

管理者 松原 正子

4月13日(月)管理者が講師となり、新年度を迎えるにあたり、最初に2026年度の事業計画の基本方針、事業の3本柱「支援の原点の再確認」「職員チームの再構築」「施設の強みの継続」について説明がありました。また改めて「自閉症とは」と再認識する時間でした。自閉症の方には知的障害の方も多くいます。知的障害を伴わない自閉症の方もいますが、それぞれが困難を抱えている。大事なことはその人がどんなことが出来、何が苦手なのか、どんな魅力があるかといったその人に目を向ける事である。その人その人に合った関りをすればみんなが自分らしく生活できる。発達障害のある人に接する時の配慮について学びました。

個別支援会議

サービス管理責任者 松原 主任 松田・加藤

5月11日(月)サービス管理責任者、主任が中心となり、「個別支援会議」の研修を行いました。利用者様の支援について具体的な事例を挙げ、職員間で意見を出し合いました。利用者様と関わる事で気づいてくることがあるはず、その気づきは利用者様の成長の為に必要で、よく観察する必要がある。職員側の都合で、声掛け・指示をしても利用者様には伝わらない。利用者様のちょっとした変化に気づき、適切なタイミングで、適切な声掛け・関わりが重要になってくことを学びました。

社会福祉法人について 現行制度・コンプライアンス・守秘義務について

理事長 松原 健太

6月8日(月)理事長より法人のコンプライアンスについて研修していただきました。コンプライアンスは端的に言うと、「法令遵守」ですが、難しい事ではなく、日々の行動として理解する。なぜコンプライアンスが必要なのか、利用者様、職員、法人を守るための行動基準である。社会福祉法人の職員として、法を守る・就業規則を守るだけでなく、利用者様の人権であったり、福祉専門職としても倫理など社会規範を踏まえ、公正で誠実なサービス提供と経営を行うことを意味することを学びました。

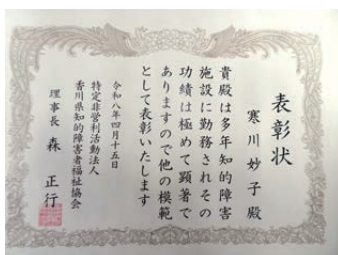
トピックス

アスパラハウス 草抜き

小さな草も丁寧に
抜いて行きます。



令和8年度 香川県知的障害者福祉協会 理事長表彰

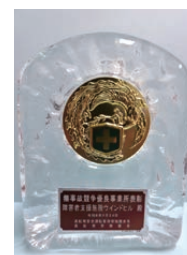
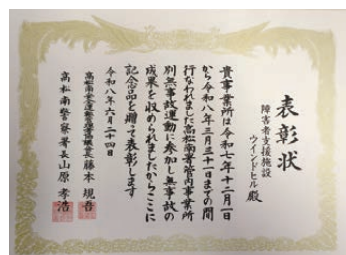


4月15日(水)「マリンパレスさぬき」にて開催されました「令和8年度 香川県知的障害者福祉協会総会 永年勤続者表彰」にて、知的障害関係施設に功劳があった者等として、寒川職員を推薦したところ、表彰していただきました。推薦の理由として寒川職員は19年という長期間の勤務実績の中で得た自閉症者への関わり方を、新入社員に教える等人材育成に携わり、支援員の底上げに尽力してくれました。また日々の支援では利用者の日常的变化にいち早く気づき、報告・共有を徹底して行うなど、他職員の手本となっています。利用者様との信頼関係もしっかり構築出来ていることで、安心して支援を任せられる存在であり、利用者様にとってなくてはならないかけがえのない存在になっています。

本人のコメント

高齢者ですが、皆様に助けられ励まされてきました。施設で働く一日が生活の一部になっています。 生活支援員 寒川 妙子

無事故表彰



令和8年6月24日(水) サンメッセ香川にて「令和8年度 高松南安全運転管理者協議会通常総会」が開催されました。総会に先立ちまして令和8年度の表彰式がありました。当事業所は「無事故競争優良事業所」として表彰していただきました。これは令和7年12月1日～令和8年3月31日の間に「高松南署管内事業所別無事故運動」に参加し、無事故の成果を収めたことへの表彰になります。この表彰は日頃利用者様の乗せて運転するドライバーの安全運転に対する強い意識を持っている賜物だと思います。今後も交通ルールを守り安全運転に務めて参ります。

安全運転管理者 小谷 一良

資金収支計算書

(自) 令和7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日
(単位:円)

第1号の1様式

勘 定 科 目			決 算
事業活動による収支	収入	就 労 支 援 事 業 収 入	1,370,889
		障害福祉サービス等事業収入	103,700,547
		経 常 経 費 寄 附 金 収 入	120,000
		受 取 利 息 配 当 金 収 入	378,826
		そ の 他 の 収 入	1,190,753
		事業活動収入計 (1)	106,761,015
	支出	人 件 費 支 出	83,184,368
		事業費支出	12,468,317
		事務費支出	33,468,019
		就 労 支 援 事 業 支 出	1,139,517
		事業活動支出計 (2)	130,260,221
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)			-23,499,206

勘 定 科 目			決 算
施設整備等による収支	収入	固 定 資 産 売 却 収 入	20,000
		施 設 整 備 等 収 入 計 (4)	20,000
	支出	固 定 資 産 取 得 支 出	10,188,919
		施 設 整 備 等 支 出 計 (5)	10,188,919
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		-10,168,919
その他の活動による収支	収入	積 立 資 産 取 崩 収 入	-
		そ の 他 の 活 動 収 入 計 (7)	-
	支出	積 立 資 産 支 出	391,580
		そ の 他 の 活 動 支 出 計 (8)	391,580
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		-391,580
予 備 費 支 出 (10)		-	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			-34,059,705

前期末支払資金残高(12)	358,727,763
当期末支払資金残高(11) + (12)	324,668,058

第3号の1様式

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在
(単位:円)

資産の部				当年度末
科目				
流動資産	金	預金	金	333,391,937
現金				317,816,044
事業未収金				14,591,556
貯蔵品				1,074,236
立替金				-89,899
固定資産	資本財	土地	建物	637,500,726
基本財産				588,931,860
土地				166,462,258
建物				402,469,602
その他の固定資産				68,568,866
建物				11,859,707
構築物				31,693,159
機械及び装置				14,349,264
車両運搬具				50,174
器具及び備品				7,200,578
権利				46,000
退職給付引当資産				3,369,984
資産の部合計				970,892,663

負債の部				当年度末
科目				
流動負債	事業未払金			15,846,879
事業未払金				8,539,370
職員預り金				184,509
賞与引当金				7,123,000
固定負債				3,369,984
退職給付引当金				3,369,984
負債の部合計				19,216,863

純資産の部				当年度末
科目				
基本金				220,460,000
基本金				220,460,000
国庫補助金等特別積立金				122,940,783
国庫補助金等特別積立金				122,940,783
次期繰越活動増減差額				608,275,017
次期繰越活動増減差額				608,275,017
(うち当期活動増減差額)				-51,188,523
純資産の部合計				951,675,800
負債及び純資産の部合計				970,892,663

事業活動収支計算書

(自) 令和7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日
(単位:円)

第2号の1様式

勘 定 科 目			決 算
サービス活動増減の部	収益	就 労 支 援 事 業 収 益	1,370,889
		障害福祉サービス等事業収益	103,700,547
		経 常 経 費 寄 附 金 収 入	120,000
		サービス活動収益計 (1)	105,191,436
	費用	人 件 費	85,246,948
		事 業 費	12,468,317
		事 務 費	33,468,019
		就 労 支 援 事 業 費 用	1,139,517
		減 価 償 却 費	30,927,397
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,280,662
	サービス活動費用計 (2)	157,969,536	
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	-52,778,100	
サービス活動外増減の部	収益	受 取 利 息 配 当 金 収 益	378,826
		その他のサービス活動外収益	1,190,753
		サービス活動外収益計 (4)	1,569,579
	費用	その他のサービス活動外費用	
		サービス活動外費用計 (5)	
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	1,569,579	
経 常 増 減 差 額 (7) = (3) + (6)			-51,208,521

勘定科目			決算
繰越活動増減差額の部	費用	固定資産売却益	19,999
		特別収益計(8)	19,999
	費用	固定資産売却損・処分損	1
		特別費用計(9)	1
	特別増減差額(10) = (8) - (9)		19,999
当期活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(11) = (7) + (10)		-51,188,823
	前期繰越活動増減差額(12)		659,463,017
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		608,275,017
	基本金取崩額(14)		
	基金取崩額(15)		
	その他の積立金取崩額(16)		
	その他の積立金積立額(17)		
	次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		608,275,017

社会福祉法人ポム・ド・パン 採用担当よりお知らせ

ポム・ド・パンでは現在、新卒・中途採用の募集を行っております。「利用者の成長と一緒に見届けませんか？」

知的障害のある方を支援する 生活支援員 若干名募集

お仕事の内容：利用者様の自立した生活が送れるようにサポートしていただきます。

就業場所：障害者支援施設ウインドヒル 高松市三谷町 3851 番地

未経験でも他業種からの応募も大歓迎です。人と関わる事が好きな方の応募をお待ちしております。

施設見学も随時行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：採用担当 松原 TEL：087-888-4277



社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和8年度個人会員

廣野 眞理 松田 展和

山本 哲 岩田 武

村山 昌 高橋由佐子

佐竹 勝利 松原 馨

小松千賀子 宮崎 昭子

深井 一恵 大西 敏夫

辻 正彦 千代美知子

塩本 洋子 増田 泰子

田岡 晃平 山口 満隆

令和8年4月1日～令和8年6月30日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。

令和8年6月30日以降にご入会の方々は、次回の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

岡 康弘 瀬谷 之人 小山 裕介 伊賀 宏文 前田 浩子 宮崎 成

柳瀬 治夫 沖野 昌志 沖野 貴子 沖野 知晴 小野 晴世 上田 絹代

村中スミ子 真鍋 幸恵 真嶋方文・邦子 山本 勝博 佐々木久一 平井 卓也

藤田美佐緒 大西 一正 後藤見知子 池下 律子 森永 政子 計野浩一郎

三好美千代 桑田 まり 三原 憲二 森 里子 植田 琴美 佐藤 明美

白川 克彦 小川 博子 多田 修 高橋 伴子 松原 正子 田岡 博雄

三好 智子 加藤健太郎 加藤 理江 富田 トエ 松下 繁美

●令和8年度法人会員

晴天

大成段ボール

共同ガス

一陽パック

高松機械

しろくま薬局

合田工務店

カナック

レイグランド

高島産業

JF卓球

百十四銀行 空港口支店

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いいたします。

〔年会費〕個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

〔ご入金方法〕郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。

アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記

今号がお手元に届く頃にはFIFAワールドカップの優勝国も決まっていると思います。ワールドカップと言えばサッカーと思われる方が多いと思いますが、他にも世界大会をワールドカップと呼んでいる競技はあるんですよ。例えばクリケットやスキーなどがあげられます。ただしサッカーほど老若男女・全世界が熱くなる競技はありませんよね。開催はオリンピックと同じ4年に一度ですが、オリンピックを越える世界最大のスポーツイベントと言えます。



松ぼっくりのポムです。



松ぼっくりのパンです。